日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 6889-6890
ENTERED AS 2. V. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 3 CENTS

おいしい醤油
ヤマシタヤ

日米

日曜講壇

愛他心の涵養

人間は本來、愛利己の動物であるといふ見方がある。食慾、性慾、所有慾などがそなはり、それに刺戟せられて生活し、それに刺戟せられて生活し、それに刺戟せられて生活し

フーバー大統領の青少年時代

（七）　河村幽川

ハーバートの家には、宗教に關する書物以外の書物は殆どなかつた。小說のごときは絕對に讀むことを禁ぜられてゐた。

フーバーは後日、この時代のことを述懷して左のごとく語つてゐる。

「我がクエーカー信者の家庭では、バイブルより强い、感じを與へるやうな讀み物は、嚴く禁ぜられてゐた。しかしベンジャー伯父さんはメソジスト教の信者であつたので「青年の友」（ユース、コンパニオン）といふ雜誌の購讀をその子等に許してゐた。それで一度このことを私の母にもすゝめたのだが、私の母はそれに不贊成だつた。それで私共は其の雜誌の古いのをこつそり借て來て讀んだ」

又ある時こんなこともあつた兄のタッドが友人から「ロビンソン・クルーソーの漂流記」を借りてきてバートとジョージの三人で交り〴〵讀んだ。そんな時には何時も二階のベッド・ルームに行つて、スプリングの下にもぐりこみ、腹ばいになつて一人々々で讀んだ。餘り面白いので、二人は何時ももく讀んでハーバートの番は中々こなかつた。いよ〳〵番が來て待ちかねると、もう讀みの書物を取られたそして二人が讀む時にはいつも二階のステップの所へ見張り番にやたされた

「若し誰でも來たら口館を吹いて今圖をするんだよ」

と二人から言ひつけられてゐた。ハーバートは溫順な子供だつたので「オーライ〳〵」といつて不平もいはなかつたけれども子供のことであるので、何かふと外のことを思ひ出して命令を忘れて口館をふく事があつた。すると二人はびつくりして、ひどい剣幕をして大騒ぎをして書物をかくす。二人は誰か來たのかとすまして知らぬふりをして入つて來るものがある。見るとバートである。

「オヤ、びつくりさした誰か來たのかい」

「ノー。だれも來やしない」

「だつて口館をふいたじやないか」

「あゝ、さうだつたか。忘れてゐたよ」

「もう少し番をしてゐてくれ丁度面白い所だよ」

といつて二人は、いやがるバートを抱て又ステップの所へ連れて行き無理やりに番をさせた。

アトランチック市に植ゑる日本の櫻五百本

日本人は嫌はれても櫻花は大歡迎される

日本人四名が寄附

ニュージャージー州アトランチック市の大軍紀念碑の周圍に來ることを止めるやうな、ダウビズ氏は日本人は排斥されても日本櫻は歡迎されるであつて、この櫻がやはり一九二七年以來排斥されて來たなぜ櫻は日本人といふものは苗木を持つて來ないふに日本から苗木を持つてくるを、例へば甲蟲のやうな植物類を害する昆蟲をもつてくるからいけないといふのであるにやることを既報したが、そして日本人といふものは苗木の入を禁ぜられたからさて、そこで「櫻の樹を移植する四月上旬五百本の日本櫻を植ゑつける事になつた。日本人は排斥されても日本櫻は歡迎されるであつて、この櫻がやはり一九二七年以來排斥されて來なかつた。なぜ櫻は日本人といふものは苗木を持つてこの櫻の寄附者は過般アトランチック市の學校に歡迎を寄附してくるを、例へば甲蟲のやうな植物類を害する昆蟲をもつてくるからいけないといふのであるにやることを既報したが、そして今は移入を禁ぜられたからさて、そこで

右移植を思ひたつたのこの氏、ニュージャージー市に正式に寄附者が、今春の手續きをした、寄附者は、今春、市長ジョン・ヒッチ氏、ニュージャージー州アトランチック市の關根氏の植物園で櫻の樹を移植する

日墨親善増進の為
毎年學生を送る
國際親交は若人により
今後益々盛んにすると
見學團代表本社訪問

昨年日本訪問した墨國總領事館を訪問し、さらに本社を訪問したが常なる大歓迎をうけたメキシコ大學哲學教授ダー・チンドカ博士を團長とする學生觀察團は一昨日入港の銀洋丸で寄港したが、チンドカ博士は本社における官民より受けた歓迎に厚く感謝し、墨國の親善増進の為に力説し、今後毎年學生觀察團を日本に送り若き人民により日本に送り若き人民により日墨の親交をはかる考へだと語つてゐた

代表者一行
本社訪問
青山君案内役

墨國の青山君は墨國にありて本紙の愛読者の一人で第二世墨國市中の青山君である「今回の墨國學士は、昨日入港の銀洋丸で寄港したが、チンドカ博士は本社における官民より受けた歓迎に厚く感謝し、墨國の親善増進の為に力説し、今後毎年學生觀察團を日本に送り若き人民により日墨の親交をはかる考へだと語つてゐた

全市第一の輝ける榮冠を!!
百廿バーセント突破まで
チエスト運動

チエスト運動以來の驚異的成績を獲得した、邦人部は來る十日の最終日には一百二十バーセントを破して全市第一の榮冠を得んとしてゐる、昨日は本部へ報告はなかつたが、既に五千七百弗すなはち一一四バーセント以上に上つてゐる、昨日ゴール破の區は左のごとし

▲第四區　六百三十二弗　委員　井手鹿造、廣生山藏、神崎吉三、本田鶴、大川乙作
▲第五區　百八十九弗五十仙　委員　石田太造、宿澤三代藏、山崎平作、土橋慶作、中田忠右衛門
第六區　六十弗　委員　沼波義貫、沼尾長十郎、榎本峰吉
▲第二十三區六十二弗五十仙　委員　矢野八郎、佐藤仙太郎、中島鎌太郎
▲第十九區　九十八弗五十仙　委員　丸岡重光、的井宅治、救世軍
▲第二區　千七百〇六弗七十五仙　委員　波多江實、野田晴男、小豆澤兵重、廣太觀太、柴田一郎
▲第七區　百二十九弗　委員　清水岩次郎、馬場鞆作、佐藤愛藏

日本に行くならば私しが案引によつて好で紹介しましたさうで夢の如くに思はれる名歌手マダムバケーン氏を浅草公園内の案内
墨國長官ドクキシ氏を訪ねましたこの歌劇團の一行
左からドキシコ署長、バケバン氏、マダム、バケバーン、ロツセーン、長官、四宮淺草丸船長

讃辭の連發
基女青の雛祭
二百の米人客をしみなく

六日午後三時から開かれた基女青の雛祭は米婦人のお客さまが二百余人内高等教師學生及び父兄の大加大、ミルス、カレッヂ師範學校等からのお客様多く、せまいホールは滿員で廊下まで、中商會員松野、瑞樹君夫妻が、うひ子をあげて大悦びである。ビールは昨日七時病で安産したが、しかも丸々ふとつた明石、お茶の湯に讃辭の最大的形の子さうである。若夫婦大手柄さい同を惜みなくさげながら、ふ所である。

内親王
御誕生
總領事館に
公報到達す

皇后陛下御出産について總領事館より到達した

皇后陛下には七日午後〇時二分御分娩内親王誕生あらせらる、御二方とも御健やかにあらせらる。

夫君の遺骨を抱き
故國より歸へるミ夫人
總領事として日本就任
三ヶ月目に悲しき死別

昨年十月七日渡日したエチジが、その決勝戦は今八日の日曜エラ國總領事ラベル博士は赴任後三ヶ月で死亡したのでコートで行はれる、その組合せは、

朝倉　W清水組
對　K清水、小林組

であるが、優勝者には、シルバー、ラナーアップにはフロンズのメダルが各々贈られるはず、

第一庭球の決勝戰

先々週の日曜日に決勝されたる第一庭球クラブの單試合は、ひよく晴決勝まで進んでゐた

五千弗の生命保險で
約八千弗儲ける
三年半●病氣中毎月
五十弗宛治療費を受けた

三年半病みつゐてゐた、孫子これだから皆さん保險に入つてかなくてはいけませんと大威張りで話してゐる。

三年前ニューヨーク生命保險に入つてゐた、見る八百弗ばかりの掛金をした所で一九二八年一月一日に、そこで會社は、そのデスアビリテー契約に從ひ、同氏に毎月五十弗宛

治療費を
支はらつてくれた

昨年十月に渡日したエチジが、その決勝戦は今八日の日曜日に決勝されたが、その決勝戦は今八日の日曜日に決勝されたが、その決勝戦は今八日の日曜日に決勝された

桑港市況 三月七日

鈍調に閉ず

殘荷相變らず多量 カリフラワー不振 アスパラ鈍し

概況

今週桑港市場はシーズンが減切り増加して殘荷過剰に悩み續けて來、柑橘類は鈍調を保持して來たがオレンヂは各サイズを通じて下落したまゝであつた、カリフラワーは愈々不振にしてアスパラガスもまた人氣なし、レタスは市價刷り振はずトメトも半月に閉ちた。

果實類

ストロベリー 帝原よりはクレート三弗より三弗五十仙で持ち合、アロヨーグランデ物は二弗五十仙より三にて取り引かれたが鈍調であつた。

柑橘類 レモンは比較的手堅くして四ヶ月弗五十仙にてブーア物は三弗七十五仙にて動き、レモチットは一弗五十仙より二弗七十五仙であつた、オレンヂ・グレープフルーツは持ち合に終る

野菜類

アスパラガス アスパラは入荷多少ある中グリーンは十仙より十五仙にて、ホワイトは十四仙より廿二仙にて取り引かれた

カリフラワー 常にウイークにして飛切物ダズン六十五仙より七十五仙、ブーア物五十仙位にて殘荷多量

セロリー チュラビスタ物はクレート四ダズン五十仙にて振はず、ブーア物は四弗五十仙より三弗七十五仙にて平凡と見る

レタス 帝原よりのレタスは二弗廿五仙より二弗七十五仙にて取り引かれ鈍調氣分に包まれて終る

トメト トメトは全体ウイークにしてラグ二弗五十仙より三弗、ブーアは二弗位、クレート一弗七十五仙より二弗廿五仙にて不振であつた

ルバーブ アラメダよりのストロベリールバーブは相變らず入荷多くして上物は二弗七十五仙より三弗、チョイス物は一弗五十仙より一弗七十五仙にて動き鈍し

桑港市況

果物相場 卸賣標準 三月七日

アップル 箱	
ユートン	1.00
デリシャス	1.00
スピッツバーグ	1.50
パナナ 布哇 封度	三半

レモン飛切 箱	三.五〇
アリゾナ	三.五〇
オレンヂ ネーバール	三.五〇
ベーア	三.五〇
アボカード 斤	三.五〇
ストロベリー	三.五〇

野菜相場

アイチョーク 大クレート	一.五〇
アスパラガス グリーン 南加	一.〇〇
ビンズ	二.〇〇
ライマ	一.〇〇
レタス アイス帝原	二.五〇
ドライ	一.五〇
アニオン 赤 黄 袋	一.〇〇
ポテト ワシントン	一.〇〇
スタクトン	一.〇〇
甘ポテト	二半
サック入物	
キャロット	六〇
タアニップ 黄	金一.〇〇
白	六〇
ルバーブ アラメダ	三.五〇
キュカンバー	一.〇〇
スクワシ スチュ	一.〇〇
スカーロップ	一.五〇
トメト ラグ	一.〇〇
セロリー ベニス	三.五〇
チュラビスタ	二.〇〇
パンチ物	一.〇〇
アニオン	一.〇〇
キャロット	一.〇〇
ラディシ	一.〇〇
カリフラワー 打	一.〇〇
キャベーヂ 百斤	二.五〇
パパー 斤	一.〇〇
ナス	六〇
スニチピ	一.〇〇
ビーツ	一.〇〇
ビスモ	一.〇〇

東部市況

六日農務局報

アスパラガス 出荷量北加一〇、中加四、帝原二貨車

▲シカゴ 百クレート到着、在荷ナシ、市況漸調、帝原ものボンチド、小サイズ四弗廿五仙より五弗、中五弗五十仙、大六弗、北加ものボンチド大サイズ六弗

▲紐育 加州一貨車着、在荷ナシ、市況漸調、加州打ボンチ極大弗より十二弗、大八弗より十弗、小サイズ五弗五十仙より七弗

▲ボストン 加州百クレート着、在荷ナシ、市況手堅し、打ボンチ極大十弗、大八弗より十二弗

カリフラワー 出荷量中四八、南加三、オレゴン一、計五二貨車

▲シカゴ 加州九貨車、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲紐育 八貨車着、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲ピツバーグ 加州五貨車、在荷一五貨車、市況漸進、加州ガタルピ産ポニークレート一弗八十五仙より二弗

ルバーブ 出荷量中加五貨車

▲シカゴ ワシントン二貨車着、在荷五貨車、極上十五ポンド入一弗七十五仙

▲紐育 加州一貨車着、市況漸調、加州牛ボックス一弗廿五仙

▲ボストン 加州五貨車、在荷一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲ピツバーグ 加州九貨車、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲紐育 加州一貨車着、在荷三一貨車、市況漸進、加州打ボンチ極大十弗、大八弗より十二弗、小サイズ五弗五十仙より七弗

▲ボストン 加州百クレート着、在荷ナシ、市況手堅し、打ボンチ極大十弗、大八弗より十二弗

カリフラワー 出荷量中四八、南加三、オレゴン一、計五二貨車

▲シカゴ 加州九貨車、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲紐育 加州一貨車着、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲ピツバーグ 加州五貨車、在荷一五貨車、市況漸進、加州ガタルピ産ポニークレート一弗八十五仙より二弗

ルバーブ 出荷量中加五貨車

▲シカゴ ワシントン二貨車着、在荷五貨車、極上十五ポンド入一弗七十五仙

▲紐育 加州一貨車着、市況漸調、加州牛ボックス一弗廿五仙

野菜果物着荷數

六日桑港市場へ

セロリー	一八〇
七貨車	
アニオン	一三九クレート
大六一打	
八三クレート	
同	一八〇
七貨車	
四貨車	
五〇六クレート	
二〇六打	
七九クレート	
八六五打	
五七七二箱	
二九八クレート	
一九八箱	
九貨車	
二貨車	
五七クレート	
一貨車	

桑港市況

ラディッシュ	一〇
マスタグリン	一〇
スピニチ	一〇
グリーンアニオン	一.五〇
パーセリ	一〇
カリフラワー 地方	一.〇〇
キャベーヂ 地方	一〇
セロリー 地方	一〇
レタス 一氷	一.五〇
ドライ 四打	一.五〇
ピー	一.五〇
ポテトパーパンク	一.五〇
スキートポテト 斤	六〇
エグプラント 斤	三
ベルペパー 地方	一.〇〇
チリペパー	六〇
スクワシ	一.〇〇
イタリアン ラグ	一.五〇
サンマー 地方	一.五〇
トメト 地方	一.五〇
スピニチ	一.五〇
グレープフルーツ 五七クレート	一.五〇
ストロベリー 一箱	一.五〇
オレンヂ	一.五〇

紐育株價騰貴

平均三弗九十仙方

ニューヨーク六日發。二月中ニューヨーク株式市場にリストされた株價は四十九億九千二百八十萬九千七百七十二弗同であつたが、三月一日には五百七十億五千四百七十六萬四千四百八十一弗さなつた、二月一日にリストされた株數は二九八、七〇七、〇三一であつたが、三月一日には一、二九七、八七九二四クレート二九三、米に增加し、二月一日の平均株價四十〇九仙が四十三八五五サック六七四箱

木綿袋使用 面白き新案

米國農務局にては究の見各グロサリー小賣り店に於いて、不景氣が續つて大した增加を示さず、使用してゐる紙製パックの代りにカトンパックを使用するこさを推奨してゐる、該パックは所謂研究費だけでも一ケ年間に一千五百萬弗の巨費を投じてゐる有機で、寂然一大資本王國を形成してゐる譯である。

グロサリー小賣店

野菜果物着荷數

六日桑港市場へ

五〇六クレート	
二〇六打	
七九クレート	
八六五打	
一三九クレート	
六六一打	
八三クレート	
一八〇	
七貨車	
四貨車	
五七クレート	
二九八クレート	
一九八箱	
九貨車	
二貨車	
五七クレート	
一貨車	

東部市況

六日農務局報

アスパラガス 出荷量北加一〇、中加四、帝原二貨車

▲シカゴ 百クレート到着、在荷ナシ、市況漸調、帝原ものボンチド、小サイズ四弗廿五仙より五弗、中五弗五十仙、大六弗、北加ものボンチド大サイズ六弗

▲紐育 加州一貨車着、在荷ナシ、市況漸進、加州打ボンチ極大十弗、大八弗より十二弗、小サイズ五弗五十仙より七弗

▲ボストン 加州百クレート着、在荷ナシ、市況手堅し、打ボンチ極大十弗、大八弗より十二弗

カリフラワー 出荷量中四八、南加三、オレゴン一、計五二貨車

▲シカゴ 加州九貨車、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲紐育 八貨車着、在荷三一貨車、市況漸進、加州ポニークレート一弗七十五仙より二弗廿五仙

▲ピツバーグ 加州五貨車、在荷一五貨車、市況漸進、加州ガタルピ産ポニークレート一弗八十五仙より二弗

ルバーブ 出荷量中加五貨車

▲シカゴ ワシントン二貨車着、在荷五貨車、極上十五ポンド入一弗七十五仙

▲紐育 加州一貨車着、市況漸調、加州牛ボックス一弗廿五仙

桑港市況

野菜相場 並物以上卸値 三月五日

ポンチ物	一〇
ビーツ	一〇
キャロット	一〇
タイナップ	一〇
レグホン	一〇
ルースター	仙
ライブ	仙
鶏肉卸商へ	桑港渡
鶏卵卸賣相場	九仙半
エキストラ	六仙半
ミデアム	
鶏卵卸商へ	一〇

羅府市況

野菜相場 並物以上卸値 三月五日

▲紐育 毒	虫一申賀 三郎
▲紐育 悲しみの	天使一中村武羅夫
▲紐育 恋	姫一畑 耕一
▲紐育 恋	子
▲理想	鶴見祐輔
▲小説	鞭 打つ愛一澄川哲朗
▲紐育	佐々木邦
▲紐育	菊池寛
▲紐育	岸田國士
▲紐育	蒲田俳優
▲紐育	椿

農業と經濟

米國電話會社の總資産五十億弗

電話新架設十萬以上

總株主は五十六萬人に上る

米國最大の電話電信會社たる米國電話會社は昨年度の營業成績を發表したが、これによると總資産は一株宛十四十四弗、一昨年度の二億六千七百八十七萬四千弗で純益總額に於いて八百八十萬弗は一株十二弗六十七仙の利益率を表した。

二億六千七百八十七萬四千弗で純益總額に於いて八百八十萬弗は一株十二弗六十七仙の利益率を表した。

二億二千八百四十三萬八十八弗に比して著しい增加を示してゐる。

社ではギフォールド氏の報告によれば、昨年度中に同社株主は九萬七千八百九十三名の增加をしめし、一會社としては米國で最も多數の株主を有してゐる。また昨年度だけでも一ケ年間に電話新架設が十一萬二千臺であるが、不景氣が續つて大した增加を示さず、使用してゐる紙製パックの代りにカトンパックを使用するこさを推奨してゐる、該パックは研究費だけでも一ケ年間に一千五百萬弗の巨費を投じてゐる有機で、寂然一大資本王國を形成してゐる譯である。

紐育株價騰貴

平均三弗九十仙方

ニューヨーク六日發。二月中ニューヨーク株式市場にリストされた株價は四十九億九千二百八十萬九千七百七十二弗同であつたが、三月一日には五百七十億五千四百七十六萬四千四百八十一弗さなつた、二月一日にリストされた株數は二九八、七〇七、〇三一であつたが、三月一日には一、二九七、八七九二四クレート二九三、米に增加し、二月一日の平均株價四十〇九仙が四十三八五五サック六七四箱

桑港市況

ラディッシュ	一〇
マスタグリン	一〇
スピニチ	一〇
グリーンアニオン	一.五〇
パーセリ	一〇
カリフラワー 地方	一.〇〇
キャベーヂ 地方	一〇
セロリー 地方	一〇
レタス 一氷	一.五〇
ドライ 四打	一.五〇
ピー	一.五〇
ポテトパーパンク	一.五〇
スキートポテト 斤	六〇
エグプラント 斤	三
ベルペパー 地方	一.〇〇
チリペパー	六〇
スクワシ	一.〇〇
イタリアン ラグ	一.五〇
サンマー 地方	一.五〇
トメト 地方	一.五〇

風 (18)

山本有三 挿絵 川端龍子

「ねえさま、お待ちなさい、今新聞を見るから「被害者は東京牛込區河田町〇〇番地、現〇〇大學」の清部講師、限野實樂(三一)」としてありますね、懷中に紙入れがあつたので名前がすぐ分かつたらしい」

「それぢや殺した奴はお金が目あてではなかつたと見ねばなるのね」

「さうですね、紙入れに手をつけなかつたところを見ると、お金目あてでせう、然し女分殺しか何かでせう、然し女人の談話といふのがわきに出てゐるぢやありませんか」

「それは、二人殺されたのは、何よりも、この事件は藝妓さんの方が目立つていふんですから、女かんの方が、いつの間にか行方不明になつちまつたんで、半まで上つた。

「まあ、さういふ人がさうしてなにさつよりも、この事件は藝妓さんの方が目立つていふんですから、女かんの方が、いつの間にか行方不明になつちまつたんで、半まで上つた。

「そいつは分からないが、そんなことは全然不明さ」

「名前も」

「るなくなつた男のかい、そいつが分かれば何でもありやしないが、運轉手にしても、たゞ吉祥寺まで、つて乘せて來たんだから、どこのだれだか分からない、そこで警察の方でも、吉祥寺で昨夜歸らなかつた者、今晩歸つた者、さういふ者をしらみつぶしに一軒一軒調べてるさうだ」

「そんなことも新聞に出てるの」

「あゝ、出てるさうも、――ここに出てるよ」

「ぢや叔父さん、大變ぢやなくて」

「何つて」

「叔父さんも昨夜居なかつたぢやありませんか調べられて」

「常談いふない」

「少し調べられた方がいゝのよ、叔父さんのやうの人は」

「馬鹿にするな、はゝゝゝ」

議司は大きく伸びをしてから

「それはさうね、でも殺された人さ、るなくなつた人さはさういふ關係なの」

「そんなことは全然不明さ」

「るなくなつた男のかい、そいつが分かれば何でもありやしないが、運轉手にしても、たゞ吉祥寺まで、つて乘せて來たんだから、どこのだれだか分かりない、そこで警察の方でも、吉祥寺で昨夜歸らなかつた者、今晩歸つた者、さういふ者をしらみつぶしに一軒一軒調べてるさうだ」

「そんなことも新聞に出てるの」

「あゝ、出てるさうも、――ここに出てるよ」

「ぢや叔父さん、大變ぢやなくて」

「何つて」

「叔父さんも昨夜居なかつたぢやありませんか調べられて」

「常談いふない」

「少し調べられた方がいゝのよ、叔父さんのやうの人は」

「馬鹿にするな、はゝゝゝ」

議司は大きく伸びをしてから

「まあ、さういふ人がさうしてなにさつよりも、この事件は藝妓さんの方が目立つていふんですから、女かんの方が、いつの間にか行方不明になつちまつたんで、半まで上つた。

「そいつは分からないが、そんなことは全然不明さ」

「名前も」

「るなくなつた男のかい、そいつが分かれば何でもありやしないが、運轉手にしても、たゞ吉祥寺まで、つて乘せて來たんだから、どこのだれだか分かりない、そこで警察の方でも、吉祥寺で昨夜歸らなかつた者、今晩歸つた者、さういふ者をしらみつぶしに一軒一軒調べてるさうだ」

「そんなことも新聞に出てるの」

「あゝ、出てるさうも、――ここに出てるよ」

「ぢや叔父さん、大變ぢやなくて」

「何つて」

「叔父さんも昨夜居なかつたぢやありませんか調べられて」

「常談いふない」

「少し調べられた方がいゝのよ、叔父さんのやうの人は」

「馬鹿にするな、はゝゝゝ」

議司は大きく伸びをしてから

「それはさうね、でも殺された人さ、るなくなつた人さはさういふ關係なの」

「

南加版

連累者の有無を 警視廳で嚴重取調中

四萬六千弗詐僞高飛びの 大糸自稱大佐捕物後聞

（昨紙特報）四萬六千弗詐僞高飛び事件に關し、大糸の本名は織戸正藏とて昨日縛に就いたが、警視廳では、なお織戸の背後に黒幕があるとして、目下嚴重取調中。四萬六千弗で飛び上り、更に飛行機で高飛びし、沙港から國の上、圓遠黒幕の有無も次第に判明するやうしも牢込區谷町十一番地だらうと

▲英、佛、西、獨、蘭五ヶ國を買られたソートレーキのウエスタン、エキスプレーション株は本曜日の相場十四仙會社内情につきまして第二世で早大教授の大者記を出し、所の池田正德氏に問へば、資本金は百五十萬弗、昨日申上げたとほり額面五十仙の株が三百萬ですから、本社はソートレーキ市にあり鑛山は同市の

水戸、山内の兩人を ライト辯護士が調べる

來る十三日の金曜日午後

問題の水戸新世界記者と山内前同支社記者（兩人とも東本願寺僧侶）の兩名が樺越ソーテル學園長から四百弗をさり、内二百五十弗だけ本紙坂井記者の摘發で漸く吐き出し、あとの百五十弗を返さず今度樺越學園から訴へられた事件につき、塚越氏邸では來週金曜日午後三時から水戸、山内の兩人をライト辯護士事務所に呼びつけ、ライト辯護士が證言を聴取することになつたと

密入國者檢擧と 怪しい保險屋！

同胞カード二百枚を示し 上町方面の庭園業者を探す

密入國者檢擧と保險屋――先般曩日出獄するらしい、なほ先來失業問題解決の一助として不ポイルハイトで擧げられた牧師ボ氏獄者がりの機狂者が數名あり、河口真一氏はオレゴン神學校を卒業し歸國の上二年前に學生の各地方大恐慌を來してるるが、そうしたものか移民官は移民局に擧げられた日本人官の如き「電話」で知らして來たから」さ語つたよし。奇怪な噂が傳へられてるる折しも金曜日午後上町フェドラ街在住の日本人林田盛雄氏宅に業保代理人（時に記者）さ稱する白人が訪れて「鹿兒島縣人○○は居ないか？」さて新二百枚ばかりの同氏名カードを示したが殆ど庭園業關係の旅券のない同胞が多く、遠巻きに見物する者の名まで書つて「移民局に擧げられた日本人を色々ヘルプしてるる」さ言葉を殘して立ち去つたが密入國者の顔身につけこみ加入を強いてるるらしいさ

たつた二人の 珍競走

一人は棄權した

從六位法學士の最者、鈴木マラソン會が英米の五十才以上の老人競走を十哩競走をやることは再々報道したが愈々十五日午後三時から西六二街一大〇一のハーバード運動場でやることになつた、所が米人對してもこれに住所も電話番號組合の希望方針等を述べられた。此項省略）

ルにおいて結成組合第二回總會を開催、去月二十日村長に於ける合同組合結成會の決議を報告、組合は協議の決議を報告、組合は協議の決議を報告、組合は協議

フレスノ【六日】

農救局と特別委員
葡萄計畫の協議
バイン鋤倒し案が協議事項の隨一？
チーグ氏副委員長就任

ソシルトンに派遣されたコントロール、ボードの特別委員（コスター社長、デベニュー、マーシャル三氏）は愛蘭敎濠局出顯に出席し、ひ十マイル間に植樹した本年度の葡萄計畫につき連邦農業協會と協議をなしつゝあるが、その内容は未だ公表されずに八日午前十時半エーアポートに於ける飛行機競爭に出發する。はじめ午後二時より開始され晩餐カーン郡警察官の催の警護なり同地全の感謝してゐる

●婦人會例會　來る八日午後二時より婦人會例會を同會館に開催する

●敎師會　來る八日の日曜日午後二時より敎師會を同會館に開催する

●出張敎敎　來る八日午後二時より敎師會を同會館に開催する

●寄附　亞市橋原勇氏は故亞市南美以前に於いて島川敎師の定例敎會に寄附

●記念　寄附　過日結婚せられたるゴンザレスの大野信一氏は記念として五弗を日本人會に寄附

●以敎會報　山口氏宅にて

●婦人會例會　來る八日午後八時より婦人會例會を同會館に開催する

●敎師會　來る八日午後二時より敎師會を同會館に開催する

●敎師會　來る八日午後二時より敎師會を同會館に開催する

●敎師會　來る八日午後二時より敎師

サクラメント 支社電話 三〇六六【七日】

老収税吏――日本人は正直で
親切なりしと退職に際し日會訪問感謝の意を表す

過去七八年間を日本人區域の開發者として日本人に關係収税吏たり日本人間に親切なりしこと感謝に堪へぬ。此の心持ちをこうか一般日本人に傳へて貰ひたい。昨六日總領事が本人會を訪れて謝意を表して行つたさうだが收税吏と住民とはイバルを引き合ひに出すまでもなく昔から大変仲のやうに思はれるのであるが、今回は惡いものであるのに日本人に對する收税吏の感謝であるから所謂有名無實の有補者は賛成投票をして貰ひたいと賛成の声を上げた。

●居川幹事住宅電話（櫻府）昨日本人會幹事居川鐵二氏の住宅が同老白人は本年七十歳に達するさうで微禄期終はり次第に退職するこの事、自分の在職中日本人は常に正直で且親切なりしことを感謝に堪へぬ。此の心持ちをこうか一般日本人に傳へて貰ひたい。昨六日總領事が本人會を訪れて謝意を表して行つたさうだが收税吏と住民とはイバルを引き合ひに出すまでもなく昔から大変仲のやうに思はれるのであるのに日本人に對する收税吏の感謝であるから所謂有名無實の有補者は賛成投票をして貰ひたいと賛成の声を上げた。

●害附　フロリンの藤原イッ夫人より鎮國記念として五弗宛を大學國、同母の會、櫻クラブの三團體へ寄附、なほ母の會より同夫人に記念品を贈呈した。

●害附　なほ母の會より市内石崎彌遊氏より長男ロバート出生記念として五弗宛を日本キリスト教會と同婦人會へ掲示板を日曜學校へ寄贈

●害附　千代志より相撲種古見へ、

●害附　先頃アイルトンの永

首無し屍體
東印度人なり

腹に山羊の食物を養見十一人目の不思議の死

過日ライオ河中で發見された胴部電話の針金で縛られた首無し屍體は東印度人と判明した。おは桑港の專門化學者が屍體の胃の腑の中の食物を研究し東印度人の好物なる山羊の食物と米粒のあつた事より推測されたのであるが今より約十前リバテー島の波字が五人を乗せたモーターボートが三發の銃音を放つたのを見た聞いたとも陳述し其加害動機は政爭にあるのか或ひは酒醉の上の喧嘩死したのか不明であるが官憲は後者の説に傾いて居る。去ル六ケ年間北加に於ける東印度人の死は之れで十一人目である。

●故柚木氏葬儀　河下ホーランド島の農業家廣島縣人柚木力松氏の葬儀は昨六日午後一時櫻府佛教會に於いて營まる、會者百余名あり編村東吉氏司會エロ營揮、親客は當られてうな友人數人市、同郷人浜井倉吉つて居た谷花、大上戸、藤岡二式に移り三力谷氏司會し持ち熱心に居る、高上氏が日會の慶なる松井夫人、同志坂田、同島有氏並びに鎮香あ

來る十日
淨水工事增設

日米市民賛成投票希望

日米市債募集の投票日として來る十日の火曜は當市淨水工事增設費なる四十五萬弗市債募集の可否を投票決する日であるが日米市民中の有補者は賛成投票をして貰ひたいと賛成の市の市會議員の希望である。右に關しエス、ビー鎮工場裏のフィルタレーション、プラントを本月の日曜一般に縦覧せしめる。當日は技師スチブン氏も出張して説明の勞を執るさのこと

青天白日
青年相撲

櫻府地方青年相撲大會は愈々本八日正午より櫻學國前庭に於いて擧行されるが今回は參觀者は早々來場されたいさ

●ニューキャッスル青年共鳴會の三月例會は盛況を呈するで觀者は早々來場されたいさ

●寄附　フロリンの藤原イッ夫人より鎮國記念として五弗宛を大學國、同母の會、櫻クラブの三團體へ寄附、なほ母の會より同夫人に記念品を贈呈した。

●寄附　なほ母の會より同夫人に記念品を贈呈した。

●寄附　先頃アイルトンの永

東印度人なり

櫻府地方青年相撲大會

青年相撲

淨水工事增設

來る十日

須市比島人本部と『赤』華村賃銀騒動の關係
拳骨組が當市より華村に押し寄せ『赤』も策動す

佛青主催
團體親睦會

大盛況

男女リン病

種子 卸小賣 特選レタス種子 ピースピニチ

苺苗販賣

梶岡重藏

梶田與一

青木琢馬

讓受廣告

御禮廣告

浪花ホテル 讓受披露

浪花ホテル 南出キク

櫻府支社

柚木きよ

會葬御禮

力石齒科醫院

サクラ藥店

至誠產院

小林產院

大下產院

猿渡產院

丸二

富永旅館

櫻府旅館業者

岩國屋

九州屋

肥後屋

廣嶋屋

日の本旅館

福岡屋

藝備旅館

岡山旅館

大島屋

熊本屋旅館

仙臺館

時計師 府川

山陽家具店

ライオン藥店

船橋商店

新イーグル藥店

いなか商店

櫻府支社

櫻府旅館業者

崎山商店

武田保險

佐藤齒科醫

大山館

黑河寫眞館

竹本藥店

濱井回春堂藥店

朝日時計店

家具商會

宮崎秀太郎

山尾醫院

井木醫院

橘田慶通

櫻府公認醫師

須市醫師會

秋本研介

塚原正美

石川榮助

內田賢助

林哲

鬼塚齒科醫院

森本齒科醫院

廣東樓

日米須市支社

日本ドラグ

採療法

南海堂

安賣廣告

船橋商店

蛇精素

大山化粧品

南北亞米利加一手販賣元

週刊日米

第三卷第拾號　一部十五仙

▲ムッソリニー

▲春の草紙

▲モヤシ豆にはビタミンCがある

▲性教育册子梗概（完）

▲愛兒の躾

▲家庭の仕事と小供の勞役

▲檜舞臺に出たアグネスさん

▲日本文學英譯の必要を鼓吹す

▲實用英語「スキヤキ會」

▲寫眞　廣募第三世　プロレー森永清子さん六ケ月
▲なぜさいふのは藝物　▲寫眞　婦選同盟の幹部會　▲ワシントンの半面（二）
▲談話室
▲寫眞　舞踊「惜春賦」
▲日本近信
▲寫眞　新婚の堂本拳之氏夫婦　▲三月の園藝
コドモ欄
▲育兒「小供の体重增加率に注意を拂へ」
▲童話「むきくず弟」▲型紙
▲日本語練習　A、B、C組、幼稚科、習子
▲噂の王妃▲讀者しつもん
料理欄
▲家庭で出來るハムの製法　▲英語　▲型紙
英文欄目次
▲寫眞　濱口首相夫妻
▲英譯日本の短歌▲日本近信
▲英語實力養成法　▲日本婦人の產兒制限協會
▲テニスの遊び方　テニス師範、キングフィールド氏
▲寫眞　日本の女學生より朝鮮女學生に贈る贈呈式
▲日本政治家の百貨店に對する方針▲話タシ、ニュモト▲英語冠詞の用法▲寫眞　日本の春の水鳥▲全松に鷹の圖▲日米クラブ新會員の歡迎▲よくさよ風　カールロンドウ▲我帝のクラブ標語▲當物、謎、笑話、會員の繪
▲寫眞　濱口首相夫妻
▲指導者たる實格　ウエスコシン大學總長フランク博士
▲軍縮に對する日本政治家の意見（尾崎行雄氏、新渡部博士）

本誌購讀料

一部十五仙

日米新聞讀者には次の樣に割引致します

一ケ月　五十仙　一部　十五仙
六ケ月　二弗七十五仙　一ケ月　冊五仙
一ケ年　五弗　六ケ月　二弗
一ケ年　三弗五十仙

購讀申込書

拜啓　週刊日米左記宛名にて御送り被下度候

月　日

姓名（日本字）

アドレス（英語）

日米新聞社　週刊日米部　御中

Japanese American News
Weekly Dept.
650 Ellis Street
San Francisco, Calif.

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper For All People Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

NUMBER 11,263 | Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter | SAN FRANCISCO, CALIFORNIA, SUNDAY, MARCH 8, 1931.
Copyright 1931 By The Japanese American News
Per Month $ 1.00
Per Year $11.00

ARTISTS! WE WANT HEAD DESIGN

K. K. H.M.I. AND A.M. again beg to remind their readers that they are offering a prize of $5 out of their meagre columnist salaries to the best design submitted for a heading for their comment column.

The drawings may be in any size but must be of such proportions that they can be reduced to 1¼ inches by 1¾ inches. Stiff paper and India ink should be used. The word, "Comments" should be in the design somewhere in plain simple lettering. The rest of the design is left to the ingenuity of the artist. Simple, heavy lines are preferable. Address designs to the English Columnists, 650 Ellis St., San Francisco, Calif.

By S. S.

Well, so business is better. H'ray. That's the kind of talk that's going to get us somewhere. All this crabbing and groaning about hard times isn't going to help business. At least it hasn't so far. There's been a veritable fog of gloom surrounding life in general lately. And this encouraging report from R. G. Dun and company, San Francisco mercantile agents, is music to the ears. True, they only admit—very conservatively—that "Slight improvement in general business conditions continues. ."

—oo-oo—

But it's been such a dreary age since anyone has admitted that there could BE a "slight improvement"! That's the first step in the right direction. And while there's no sense in being inanely Pollyanna-ish about the matter, it would be a good idea to keep up the good work.

IT'S MIGHTY fine—this matter of the Japanese leading the quita in the Community Chest. It's more than that. It's a reliable sign of intelligence.

—oo-oo—

Leading psychologists have long been agreed that the most accurate measure of intelligence is the ease and willingness with which an "organism" adjusts itself to its environment. In this case, the present environment is strongly tinged with lack of funds, to put it delicately. And the intelligent response on the part of those who are able to give, is to contribute as generously as possible.

Therefore, by irrefutable logic, we have proved the intelligence of those who contribute to the Community Chest. Congratulations!

—oo-oo—

The matter of Community Chests, and unemployment and things always brings to mind the omnipresent Apple Seller. And here is a grand joke on—someone: It seems there was an Apple Seller. And this A. S. sold apples so beautifully and with such finesse, polish, good humor, vim-vigor-and-vitality that the personnel manager of a big department store was held spellbound at his stand, listened, scratched his chin, considered, and offered the man a job as high-power salesman in the store.

—oo-oo—

Now is that or is it not a proof of the proverb "Seize opportunity when you can, and make the most of it"? (There may not be a proverb like that, but there ought to be.) Or maybe it shows that you can't keep a good man down. Or that you may be down, but you're not out, or words to that effect. Anyway, even if there isn't a moral, it's a good story.

Personal

SANGER ENGAGEMENT

The bethrothal of Miss Yaeko Okamura to Mr. Tetsuo Omaye of this locality was announced recently by the parents of the bride-to-be, Mr. and Mrs. K. Okamura.

OUR NEW NUMBER

FRanklin 3311
(Private Exchange)

JAPANESE AMERICAN NEWS
650 Ellis Street
San Francisco, Calif.

BABY PRINCESS ARRIVES AT IMPERIAL PALACE SATURDAY 12:02 P.M; NATION REJOICES

Sovereigns of Japan Become Parents of 4th Child

TOKYO, Mar. 7.—A Princess was born this noon at 12:02 p m to Their Imperial Majesties, the Emperor and Empress of Japan at the Imperial Palace. The infant is the fourth born to Their Majesties, who are now the parents of four daughters. The sovereign's oldest daughter, Princess Teru-no-miya, celebrated her fifth birthday last December 5. The second, Princess Hisa-no-miya, died in March 1928, before she was quite six months old. The third, Princess Taka-no-miya, was born September 30, 1929.

Since only male descendants may occupy the throne, the Prince Chichibu-no-miya, the Emperor's next younger brother, continues to be the heir presumptive.

CAPITAL SIRENS SCREECH

Announcement of the baby's arrival was carried throughout the empire by the national radiocasting system and was followed by the national anthem, "Kimi Ga Yo."

The capital was appraised of the event by sirens, while the Official Gazette, unemotional organ of the government, broke into of its rare "extras."

The religious significance of the birth found expression in ceremonies at the three shrines of the Imperial Palace; the Kashikodokoro, or "holies of holies," in which the miror, one of the three sacred treasures, is enshrined; the Koreiden, dedicated to the ancestors of the imperial house an dthe Shinden, in which the "eighty myriad" deities of the Shinto pantheon are worshipped.

RELIGIOUS CEREMONIES HELD

Before these august spirits announcement was made of the birth of a princess of the blood imperial.

The first important ceremony of the elaborate and detailed ritual governing the entrance of a member of the Imperial family into the world took place shortly after the birth. In accordance with an age-old custom the infant was presented with a short sword of archaic design, nine and one-half inches long, wrapped in white brocade and enclosed in a plain wooden box marked with the Imperial crest, the sixteen-petalled chrysantremum.

This was the gift of the Emperor, who sent it to be placed before the newborn child by the Grand Chamberlain of the Court, Admiral Suzuki. This sword must be kept close beside the princess throughout life, a symbolic protection against all evil.

Since the Imperial child is a daughter, she also was presented with a small purple hakama, the skirt of the Japanese ceremonial costume as a token of her femininity.

NAMING RITUAL

The infant Princess will go nameless for a week, for the ritual prescribes that the ceremony of bestowing the name, which only her Imperial father may choose, shall take place on the seventh day after birth.

Early that morning the infant is given a ceremonial bath in a newly wrought tub of hinoki (cypress) wood, with several ladies of the court in attendance. In a chamber adjoining the bathroom two court historians especially chosen for the honor because of their erudition read in stentorian tones a passage from the Nihon Shoki, the ancient history of the Imperial house.

At the same time four high noblemen garbed in the dress of the ancient court, participate in the ceremony of twanging bowstrings, an archaic rite intended to drive all evil influences out of the life of the Imperial baby.

Thereafter comes the naming ceremony proper. The Emperor will have chosen one from a list of auspicious names submitted to him by the most learned of the court historians, and will have written this in Japanese characters with a writing brush on a sheet of white paper. This paper is handed by the Minister of the Imperial household, Dr. Ichiki, to the grand chamberlain, Admiral Suzuki, who conveys it to the lord steward of the Empress' household.

The Empress' chief lady in waiting places the precious sheet of paper on a stand beside the baby's crib.

SERVICE AT ISE

Thereafter the name is announced to the gods and the Imperial ancestors by services before the three shrines of the sun goddess, Amaterasu Omikami at Ise.

The Emperor and Empress are still young and in excellent health and it is deemed not improbable that a male heir may yet be born to them.

His Majesty will be 30 years old April 29, and Her Majesty was 28 only yesterday. The Present Emperor became Prince Regent in November, 1921, because of the failing health of his father. His formal accession to the throne was solemnly celebrated in elaborate and unique ceremonies of enthronement at Kyoto in November, 1928.

Big Dance Planned by Campfire Girls for Sat. March 14

A semiformal dansant, a strictly invitational affair, will be sponsored next Saturday evening, March 14, oy the local Campfire girls at the headquarters of the Campfire organization, 325 Arguello boulevard. Exactly 150 bids have been sent out to the members and their friends of the girls' club in the bay region, according to the invitation committee.

The dance, which starts at 8 p m will be a merry affair in view of the fact that the announcement comes from the music committee stating that it has obtained the California Collegiate orchestra, popular group of syncopators here.

The committee is at present working hard to stage one of the most enjoyable social functions ever held in the bay area. They consist of Misses Tazu Nakamura, Chizu Nakamura, Tsune Kinoshita, Miyo Kinoshita, Kimi Usami, Kimi Uyeda, Kazue Tanimoto, and Hisae Tanimachi.

First Big Tremblor Since Izu Disaster Felt at Mishima

[Special to Japanese American News]

TOKYO, Mar 7.—A severe earthquake was felt at Mishima in the Izu peninsula at 1:15 a m this morning, the first big quake since the disaster of November 26, 1930.

Although the extent is not definitely known as yet, it is reported that clocks stopped, electric lights were extinguished, and considerable damage done to property.

Numazu and Tokyo also felt the shock, although to a lesser degree.

JAPANESE YWCA FETES 'HINAMATSURI' IN STYLE

The "Hinamatsuri" doll exhibit and tea given by the local Japanese Y.M.C.A. proved to be highly successful Friday afternoon. The guests who were mostly American, steamed in to see the typical Japanese decorations.

Lovely flower arrangements were made by Mr. Baba, local teacher and skilled exponent of the ancient art of Japan. Miss Mary Page, who was in Japan for many years in "Y" work, gave a skilled demonstration of Bonseki, of sand picture arrangement.

Beautifully dressed Japanese dolls large and small were arranged in display. Mrs. Tomoko Yamamoto gave a tea ceremony in true Japanese fashion while the favorite stringed instrument of Japan, the samisen, was played by children.

JAPAN'S EMPRESS AND TWO PRINCESSES

Her Majesty, the Empress of Japan, and her little daughters. The princesses are H.I.H. Princess Teru-no-miya and H. I. H. Princess Taka-no-miya. Princess Teru-no-miya is the elder of the two.

SAC'TO E. L. TO DISCUSS

Suggestions for New Church Will Be Subject

[Special to Japanese American News]

SACRAMENTO, Mar. 7.—"Our Suggestions for the New Church" will be the topic for discussion at the Epworth league meeting of the local Japanese M. E. church this Sunday evening, March 8, starting at 7 o'clock.

At the request of the Rev. T. J. Machida of the church, Miss Mary Oyama, who has recently returned from Los Angeles, will act as advisor for the Junior Epworth league. She was formerly young people's director for a year and a half at the Los Angeles M. E. church.

Both the senior and junior leagues are considering a suggested change of names at the next business meeting. The high school group now known as the "juniors" will become the Senior E. L., and the college group will become the Young People's E. L. if the suggested change being considered passes at the meet of the two leagues.

As soon as the offices of the second vice - president (missionary chairman), third vice-president (social service chairman), and fourth vice-president (recreation) are elected and a report sent in to the central office of the Epworth league in Chicago, both organizations will receive a charter and be officially recognized.

Doubles Finals to Be Played Off on Park Courts Sun.

The climax to the doubles tennis tournament of the San Francisco Daiichi Teikyu club will be staged this Sunday aftenoon when the Asakura-Shimizu and K. Shimizu-Koyanagi combinations play in the final game of the tournament at the Golden Gate park court. The net battle is scheduled to begin at 1 p m.

The former combination defeated the Ichimaru-Yabe team in the semi-finals, while the latter team trimmed the Sudo-Okita combination in the semi-final rounds.

The Daiichi Teikyu club received a challenge from a local Chinese tennis organization. The game will be staged some time within two weeks according to the officials of the Japanese club. This will be the second tournament with the Chinese group, the first one being won by the Japanese.

Geary Steet Fire Damages Apartment

Fire in the basement of a three-story apartment on Geary street at 1:30 a m, Saturday, March 7, did considerable damage to the residences of K. Someya, 1694 Geary street, H. Ozawa, 1688 Geary, John Pedone, 1688 Geary, and Edwin Bentzen, 1692 Geary. The cause of the fire is unknown and is under investigation. Charles Christianson is the owner of the building.

ATLANTIC CITY JAPANESE GIVE 500 CHERRY TREES

S. F. Tennis Club to Stage North vs. South Match Sun.

The first round of the elimination contest for the annual North vs. South tennis tournament will begin this Sunday, March 8, at the Domoto court in Oakland.

Five players of the North have sent in their entries to the Japanese Tennis club of San Francisco for participation in the elimination contest, namely, Fred Shimura, Nibo Shimura, Isamu Furuki, Takeo Baba, and Tomotaka Yamazaki.

Mr. Yoshioka, first ranking tennis ace among the Japanese on the coast, who recently returned to Japan, donated $5 to the tennis organization before his departure from this country aboard the Shinyo Maru.

From the south comes good news, according to the offcials of the local tennis club, saying that the proprietor of the Tomio dry goods store in Los Angeles, Mr. Tomio, donated a large silver trophy and $50 in cash for the coming North and South net battle.

Cherry trees and the Japanese people—the two make a good combination and have been deemed inseparable in far away countries like the United States. From Atlantic City, New Jersey, comes the following news saying that the Japanese residents of that locality are making plans to present 500 cherry trees to the city.

The news report, appearing in The Atlantic City Press, dated March 1, said:

"If the expectations of Japanese residents are not disappointed, and they declare there is little question of that, Atlantic City this spring will see the setting out of 500 cherry trees of hardy species, that will bloom despite fogs and give the resort flowering greenery that will endure and thrive.

"The trees will be the gift of Japanese residents of this city, and the possibilities of their becoming the foundation of a decorative scheme for avenues and the boulevards are declared to be great. It is not an experimental venture, a committee told Commissioner Kuehnle. The Japanese were A. T. Hayashi, K. Kato and K. Yoshino of this city, and R. H. Sekine, of Middleport, L. I.

"The latter said he had chage of setting out similar trees along railroad station property on Long Island, and fog there is as dense as it is in Atlantic City. The trees have thrived and flowered nicely in spring.

"Since there is an embargo on cherry trees imported from Japan, because of insect danger, the trees will all come from off-shoots of the original stock from nurseries in Long Island. The Japanese said they had looked over suitable sites and favored trees around the Soldiers' War Memorial home on Pacific avenue, in some places in Albany avenue park, in Park place and along the boulevards.

"Commissioner Kuehnle accepted the offer and will permit the donors to try out their scheme. If the trees do not succumb they should be well rooted by next year, in time to blossom for the celebration of the George Washington bi-centennial, which is what the donors desire. If the trees live they will be formally accepted by the city."

MEXICAN K. D. ARRIVES FRI.

7 Students Returning from Kengakudan to Japan

With happy memories of the in their hearts, eight members of Flowery Kingdom still overflowing the Mexican student tour party arrived here late Friday night from Japan aboard the N.Y.K. liner Ginyo Maru. They will continue their trip back home on the same steamer heading for South America.

Three members of the student party visited the editorial room of The Japanese American News Saturday morning and asked to expressed their thanks to the Japanese people through this newspaper for the warm hospitality they were accorded by the Japanese people in Japan.

Among the Mexican party was a Japanese, born in Mexico, Mario Aoyama, 22, a student of the University of Mexico. He is a naturalized citizen of Mexico. It was under his influence supported by Minister Aoyagi of Japan, and a Mexican journalist that the tour party was organized.

The student party was composed of Garcia de Mendoza, professor at the University of Mexico; Fernando de la Llave, journalist; Angel Urrutia, 22, Paul Calvo, 22; Mario Aoyama, 2; Alises Espinosa Vela, 23; Horacio Espinosa Vela, 25; and Antonio Loemi, 21.

KOMIYAMA MANSLAUGHTER CASE TO OPEN MONDAY

The manslaughter case of Kiichi Komiyama will be tried before Judge I. Harris of the Superior court, Department, 12, beginning this Monday morning, March 9. Komiyama is alleged to have killed an aged American woman, one Mrs. L. Swartz, 68, when he crashed into her one day last fall in San Francisco.

All the subjects and defendants appeared in court with their attorneys Saturday morning for the scheduled trial, but was continued to Monday because of the case of Louis Fook, whose murder case is

THE WEATHER

SUNDAY — Cloudy; moderate temperature.

S.F. JAPANESE CHEST DRIVE REACHES $6006 - CAMPAIGN LEADERS HOLD 'JAPAN DAY'

Suicide at Nagoya Found to Be Scion of Prince H. Ito

NAGOYA, Japan, Mar. 7.—A man found dead in the Atsuta Shrine park in this city on March 1 was today ascertained by the police to be Baron Hiroharu Shimizu, 30, second son of Prince Hirokuni Ito. Prince Ito is a descendant of Prince Hirobumi Ito, the "Father of the Constitution of Japan." It is said that the Baron committed suicide due to financial reverses.

TO PRESENT FREE MOVIES

Newcastle Shojo Kai YMES Are Joint Sponsors

[Special to Japanese American News]

NEWCASTLE, Mar. 7.—Featuring a movie film, "Bishop Murder Case," the Newcastle Y.M.E.S. and the Shojo kai will give their annual free entertainment this Sunday evening, March 8, in the Newcastle Japanese hall, beginning at 7:30 o'clock. The picture will be interpreted in Japanese by Jimmy Tanihara and Harry Kawahata.

The public is cordially invited by the sponsoring organizations to attend the entertainment. Absolutely no admission will be charged.

Two other pictures, "Modern Aspects of Japan," and a "Felix Cartoon," will be screened. Other entertainment numbers by the local talents will be given during the program.

Local YMBA Jrs. to Meet YMBA of San Jose Saturday

The San Francisco Y.M.B.A. junior cagemen will clash with the invading San Jose Y.M.B.A. junior quintet at the Community house court this Saturday evening, March 7, beginning at 7:30 p m. The game is considered one of the best junior basketball clashes ever played in the bay region, and is expected to draw a large number of spectators.

Division Workers May Win Trophy for Good Work

Going over the top and passing way beyond the goal, the Japanese division workers in the Community Chest drive have already raised $6006.78 to date. The new figure was reported at the daily luncheon o fthe Chest volunteer workers held Saturday noon at the St. Francis hotel.

The "Japan day" of the Chest camapign was celebrated with much joy and gaiety at the Friday noon luncheon at which time the Japanese division head, Colonel Jitsutaro Koike, spoke a few words. More than 30 Japanese volunteers, including Consul Nakamura, Mr. K. Abiko, publisher of The Japanese American News, and managers of local large Japanese business firms here, were at the luncheon table and received much praise and applause from the committee members.

The Japanese figure reported by Koike on Friday was $5630, which is 112.6 per cent of the Japanese quota.

If the present steady flow of money in the Community Chest from the Japanese would continue, the Japanese division is expected to get the first prize in the campaign and be awarded a silver loving cup trophy.

WIN HONORS IN SCHOOL

Five Sanger Union Hi Pupils in Scholarship Society

[Special to Japanese American News]

CANGER, Mar. 7.—Five Japanese students attending the Sanger Union high school have earned membership in the Scholarship society and one, Miss Haruko Ohama, is the president of the society.

The honored pupils are as follows: Senior—Masami Arita, Yoshie Arita, and Haruko Ohama; juniors—Florence Akiyama; freshman—Helen Akiyama. The percentage of honor students among the Japanese enrolled in the school is 17, according to the school records.

The Japanese students who made the Honor Roll are as follows: freshmen—Helen Akiyama, Yukie Arita, Abraham Ohama, and Kenichi Yamamoto; sophomore, Peter Hasegawa; junior, Florence Akiyama; seniors—Masami Arita, Yoshie Arita and Haruko Ohama. Miss Florence Akiyama received the highest number of points over all the other students on the Honor Roll.

JUNIOR AND SENIOR SECTION

Hello, everybody! — Yesterday's news made you all rather silent and thoughtful, did it not? Auntie has been all that and more for two days and she has come to this conclusion. Listen, nieces and nephews mine!

If Kay Yasui were alive he would want us to be jolly and happy with fun and laughter in our club, wouldn't he, dears? Of course! While he was with us he contributed so much in making us laugh and rejoice through his gay, loving letters. Let us not spoil all his good work by getting sad and gloomy. In memory of Kay let's be gay and tender just as he used to love to be. Let's laugh and joke again in our columns just as he used to and just as he would want us to do.—Right, nieces and nephews mine? Let's try.

And now, dears, here is a lovely lavender envelope with the most delicate, lovely printing on it. It seems soothing, somehow. Let's look at it.—Oooh, look! On the flap of the envelope it says "Guess who this is and at the same time please keep it to yourself. Please!!!"—That's fine but how in world will you know that auntie knows who you are? And auntie thinks she knows, too.

And oh, look again!—Do you know, members, it makes auntie feel like weeping again. Isn't that terrible after she just lectured to you all about being cheerful and happy just as Kay would want us to be?—But you see, the typing done on a red ribbon almost seemed to shout "KAY!" Worse still, some of the words are half red and half black. Many of you remember Kay's red and black typewriting, don't you? —But we must stop this and go back to the beautifully written article.

Look,—Oh, dear! There's something wrong with auntie's vocabulary today.) Here is something just in tune with the times and the lovely spring sun that is shining in on auntie's typewriter.—Members, this is the loveliest thing that auntie has read in a long time. It is titled "Spring" and the author signs herself "Hu Cares" and says, "This is my first attempt at anything like this, so it's goofy, looney, crazy or what have you." (It is not anything of the kind, D. And auntie cares very much. If this is your first attempt, auntie would like to see your more practiced attempts, D. Auntie couldn't wish for anything more perfect.)

SPRING

Spring! Doesn't that very word make you think of woodland scenes, veiled with pale green, flowers lifting their heads to wonders of spring from their long sleep through winter, gurgling streams splashing over rocks, sending spray after spray of cool, clean water over the surrounding landscape?

Close your eyes, and imagine yourself in the country instead of the hustling, bustling city, and carry yourself away miles from the roar and hum of traffic. Open them in your imagination to a refreshing, flowering meadow, bordered with lovely wisps of soft white clouds, to the joyous song of the meadow-lark as he wings his way slowly overhead.

Wander across the meadow, picking the sturdy primroses and the shy violets, to a gluck-glucking brook, whose banks are shadowed with the slender, graceful weeping willows and silvery pussy willows. Follow it until you come to a shady wood of towering pines and spruces. Entering it, you find that all of the tiny wood-folk are scurrying up and down the trees, and in and out of their favorite haunts, rejoicing over the coming of spring, chattering merrily as they work busily, quite unaware that a human being is standing close, waching their every movement, fascinated with the simple beauty of the play going on (for isn't it just like a play?) What a scare they would have if they only knew!

Leaving reluctantly the merry scene, you wander farther into the woods. How quiet it seems! Anything seems possible in this mysterious place! Magic might be lurking around the very tree in front of which you are standing. Suddenly, very suddenly, you notice something white and shimmering around the bend of the path. What could it be? A dryad, a fairy? No. Very disappointedly you discovered that it is a snow bank that the warm winds of spring have not yet discovered. Scooping up a handful of the granular show, you mold it into a hard, round ball to take home with you.

It is getting late for the afternoon shadows are lengthening. Continuing your way, the other side of the wood is at last reached. The birds are twittering sleepily to the wind in their nests, and the pines and the spruces are whispering good night as the golden sun casts his last rays of crimson on them. The flowers have closed their sweet cups, and are waiting for the evening dew to fall. Shivering with the austereness of the breeze, you realize that you must go home.

It—Crackle! Pop! Sputter! The briskly burning fire in front of you in the living room awakens you from your dream of imagination, much to your regret. Blankly you look at your hand. Alas! The precious snowball and flowers have disappeared!—

Wasn't that beautiful, everybody? And don't you feel better for having read it now? Auntie does. Vastly better and soother.

And now let's say 'bye before we spoil it all with our uncouth and unbeautiful way of saying things, shall we?—Right. 'Bye, everybody.

Aunt Mia.